

門川町とつなぐ未来

草川小学校 五年 工藤 蒼斗

「自然豊かな無人島だなあ。」

乙島に着いたしゅん間、そう思いました。

ぼくは、七月の遠足で初めて門川町のシンボルの一つである乙島に行きました。目の前にきれいな海と森が広がっていて、どんな体験ができるんだろうとワクワクしました。

まずは、海でシーカヤックをしました。門川の海に入るのは初めてで、少しドキドキしたけど、波もおだやかでパドルをどンドンこいで、門川の海を満きつすることができました。海から周りを見渡すと、釣りをしている人がたくさんいて、きつとおいしい魚がたくさんとれるんだろうなあと思いました。

次に、森の中をトレッキングしました。たくさん植物に囲まれた遊歩道は、冒険しているみたいでも楽しかったです。突然目の前に海が見えた時は、その美しさにおどろきました。また、展望台から草川小学校やお店、友達の家が見えました。外からじっくり門川の町を見ることができ、門川の良さを考えるきっかけになりました。

乙島から帰った後、

「門川の良さってなんだろう？」

と考えてみました。乙島で感じた自然の素晴らしさはもちろんですが、優しい人が多いことが門川の良さだと思います。ぼくが、登校している時や下校している時、近所の方が必ず「いってらっしゃい」や「おかえり」と声をかけて下さいます。その声を聞いて、いつも「がんばろう！」とうれしい気持ちに

なります。また、ぼくたちの登下校をたくさんの方が見守って下さっているのも、とても安心できて、うれしいです。そんな姿を見て、ぼくも、子どもたちのために動ける門川の大人になりたいと思っています。

ぼくの将来の夢は、小学校の先生になることです。先生になりたいと思った理由は、四年生の担任の先生にすごくあこがれたからです。先生は、ぼくたちのためにいろいろなことを教えてくださいました。しかられた時はきびしかったけど、ぼくたちの将来のことを考えてくださっているということが伝わってきました。また、みんな楽しんでお時は、笑顔でぼくたち以上に楽しんでいて、そんな先生を見ていると、ぼくももっと楽しくなりました。ぼくのがれの先生です。

学校の先生になったら、ぼくも先生のように、子どもたちのために、全力で努力したいです。そのために、字をていねいに書いたり、授業で習ったことをしっかり復習したりして、先生になるための準備を今からしっかりしていきたいです。

先生になるための一歩として、今年は運動会のリーダーに挑戦しました。リーダーのみんなで応援を考えたり、練習したりできて、とても楽しかったです。みんなで一生涯懸命取り組みことの良さを知りました。下級生を引っ張っていくのは大変だったけど、それ以上に赤団が勝つために行動することは、とても楽しかったし、達成感がありました。応援優勝を取ることができ、とてもうれしかったです。来年は、団長になれるように、一年かけて今年以上に努力していきたいです。今年の運動会を通して、

「みんなのために行動することが好きだな。」と思ったので、この経験を先生になるために生かしていきたいです。

ぼくは、宮崎県の先生になりたいです。もし、門川町で先生になれば、子どもたちを乙島に連れて行って、ぼくが経験したような体験をしてもらいたいです。また、門川の優しい人たちともたくさん交流できるような授業を作りたいです。これからぼくは、中学生、高校生、大学生になっていろいろなことを経験すると思います。県外や海外など、いろいろなところに行って、いろいろな人と出会って、視野を広げていきたいです。そうすることで、門川町の良さ、宮崎県の良さをもっと発見できると思います。これまでの経験、これからの経験を将来の夢に生かせるようにがんばります。
